

エネルギー資源の有効利用を推進し、 「環境で選ばれるコスモ石油」を目指します。

ライフサイクルの視点で 石油資源を有効活用

石油エネルギーが文明の飛躍的な進歩を支えた20世紀が終わり、「環境の世紀」と言われる21世紀が始まりました。人類は、石油とのつきあい方においても、新たな局面を迎えています。石油資源は有限であり、現在のペースで使い続けられれば、21世紀中には枯渇の危機を迎えるという予測が大勢を占めています。

「石がなくなったから、石器時代が終わったのではない」という言葉がありますが、これは、石油などの化石エネルギー資源を使い切る以前に、人類は、より環境負荷の少ないエネルギーを開

発する必要があるという認識が広がっていることを物語っています。しかし、原子力など石油に替わるエネルギーが抱える様々な問題点の克服や、新しいエネルギーの普及には、まだまだ時間を必要とします。現在のところ、石油が人類にとって最も利便性の高いエネルギー資源であることは間違いありません。

当グループは、産油国における油田開発をはじめ、原油の輸入、製油所における燃料油や潤滑油などの製品製造、企業や一般ユーザーへの製品販売など石油のライフサイクル^{*}全般にわたる事業活動を展開しています。原油を無駄なく有効に製品化すること、そして各工程での環境負荷を最小に抑えることを重点課題とし、これま

^{*} 27ページを参照。

